

人口減少対策に係る基礎調査の進捗状況について

	調査名	調査目的	調査対象	調査内容	調査手法	現状
①	高校生年代を対象とした意識調査	・若年世代の転出の要因を把握する・新幹線通学の需要予測	市内在住の高校生年代 3,000人	・憧れる職業 ・希望する進路先 ・地元への愛着 ・新幹線通学に対する需要	アンケート調査 (市内在住の15～17歳 を無作為抽出)	・アンケート実施済(期間6/30～7/9) ・回収数668件(22.3%)
	県内大学生を対象とした意識調査	・若年世代の転出の要因を把握する	県内大学に在籍する 大学生 (※COC+関係大学)	・憧れる職業 ・希望する就職先 ・地元で働くことに関する意識 ・地元への愛着 ・現在の大学へ進学した理由	アンケート調査 (大学へ依頼)	・大学と調整中(10月以降実施)
	首都圏在住の方を対象とした移住に関する意識調査	・首都圏在住者の本市への移住に関する意識を把握 ・新幹線通勤の需要予測	首都圏在住の方	・静岡市を知っているか ・静岡市のイメージはどのようなか ・現在の暮らしの中での不満 ・東京に住み続けている理由 ・移住する際に重視する項目 ・新幹線通勤への需要	アンケート調査 (インターネット モニター)	・準備中
②	人口減少対策に係る政策立案に向けた可能性等検討調査	・本社機能の移転可能性を把握する	本市に縁があり、首都圏に 本社機能がある企業 1000社	・本市及び中部圏域における事業所の本社機能等の現状整理 ・本社機能移転に係る課題、支援策の整理 ・本社機能移転の意向ヒアリング、移転に向けた可能性検討	・社会統計等整理 ・ヒアリング	・企業への本社機能移転意向調査 ⇒7月下旬 アンケート発送 ⇒8月上旬 締切 ⇒8月中旬に集計結果
		・新幹線通勤・通学の実態とその効果を検証	-	・本市及び県内各市(浜松、掛川、富士、三島、熱海)における新幹線通勤、通学者の数及び傾向等の整理 ・新幹線通勤補助を実施している自治体の状況整理 ・別のアンケート結果をもとに、実施した場合の効果検証 ・実施する場合の補助額及び実施フレーム検討	・実地調査 ・自治体へヒアリング ・検証、分析	・社会統計を用いた分析等 ⇒7月中旬までに結果提出 ・新幹線通勤先進自治体視察 ⇒那須塩原市7/7 ⇒佐久市7/10 ・新幹線通勤の実施可能性の検証、フレームの検討 ⇒8月下旬頃のまとめ
③	人口減少による経済波及効果等分析等調査	・人口減少による影響を定量的に把握する	-	・人口減少による影響(消費、労働力、地域力、行政運営) ・新幹線「ひかり」を増発した際の経済波及効果 など	・社会統計等整理 ・分析	・作業中
④	東京女子座談会 市内移住者座談会	・転出入の理由や本市の人口増に向けた提案	・本市出身で東京在住の20代の女性 3名 ・市内に移住した20代～40代の男女 12名	・東京に移住した理由、静岡市への思い、本市の人口増に向けた提案 ・本市に移住した理由、本市の印象、本市に住んでみた感想、本市の人口増に向けた提案	ヒアリング (座談会の開催)	・東京での座談会⇒6/27実施 ・静岡での座談会⇒7/11実施
⑤	転出入者向け 窓口アンケート	・本市から転出または本市へ転出する理由を把握する	・本市からの転出入者	・転出入アンケート結果の打ち込み	各区等の窓口での アンケート調査	・H26.8～H27.7に実施(今後も継続)
⑥	市職員の子弟 アンケート	・若年世代の転出の要因を把握する	・本市職員の40歳以下の子ども、兄妹 691件	・市職員を通じ、40歳以下の子弟に対し、本市からの転出に関する項目をアンケート調査	アンケート調査	・実施済み
⑦	マルチクライアント調査	・本社機能の移転可能性を把握する	・首都圏の企業 10,000社	・首都圏に企業を対象とした本社機能の移転に関する調査	アンケート調査	・企業へアンケート送付 ⇒7月下旬 ・結果の集計 ⇒9月中旬頃